

平成19年4月26日
株式会社 新生銀行
(コード番号:8303)

「MOTTAINAI(もったいない)」キャンペーンに賛同

～ノーベル平和賞受賞者のワンガリ・マータイ博士による記念講演を開催～

当行は、平成19年4月より、世界の環境保全を図る「MOTTAINAI(もったいない)」キャンペーン(主催:毎日新聞社MOTTAINAIキャンペーン事務局)に賛同しています。

「MOTTAINAI(もったいない)」キャンペーンとは、日本語の「もったいない」の精神に感銘を受けたノーベル平和賞受賞者のワンガリ・マータイ博士が中心となり、世界に3R運動(ごみを減らす「Reduce」、限られた資源を繰り返し使う「Reuse」、資源を再利用する「Recycle」)の3つの“R”を実践して世界の環境保全を図る運動)を広めることにより、持続可能な社会の実現と循環型社会の構築を目指していく環境活動です。

当行は、「MOTTAINAI(もったいない)」キャンペーンの趣旨に賛同し、平成19年5月2日(水)にワンガリ・マータイ博士による記念講演を本店(東京都千代田区)にて開催いたします。当行は、封筒に再生紙を利用するなど、今後も本キャンペーンの趣旨に関連した活動を行ってまいります。

【ワンガリ・マータイ博士記念講演 概要】

日時:平成19年5月2日(水) 午前11時～12時

会場:新生銀行本店(東京都千代田区内幸町2-1-8)

内容:「グリーンベルト運動」(ケニアでの植林活動)および「MOTTAINAI(もったいない)」キャンペーンについて

* お客さまからのご応募はすでに締め切らせて頂いております。

以上

ワンガリ・マータイ博士

1940年生まれ。ケニア前副環境相。生物学博士。生物学者を志し米国に留学、米ピッツバーグ大学で修士号を取得後、帰国。71年ナイロビ大学(ケニア)で東アフリカ出身の女性として初の博士号を取得した。77年に「グリーンベルト運動」(非政府組織)を創設、これまでにケニア全土で3,000万本の木を植えた。この運動は環境保全にとどまらず、植林を通じて貧困からの脱却、女性の地位向上、ケニア社会の民主化に大きく寄与している。02年、得票率98%の圧倒的支持を得て国会議員に当選、03年から現職。04年、環境に対する取り組みで初めて、またアフリカ人女性としても初のノーベル平和賞を受賞した。05年2月の来日時に毎日新聞社編集局長とのインタビューで日本語の「もったいない」という言葉に出会い、地球環境を守る世界共通語として「MOTTAINAI(もったいない)」を発信し続けている。

「MOTTAINAI(もったいない)」キャンペーン

ワンガリ・マータイ博士が提唱し毎日新聞社などが進める環境キャンペーン。ごみを減らす「Reduce」、限られた資源を繰り返し使う「Reuse」、資源を再利用する「Recycle」の3つの“R”を実践して、持続可能な社会の実現と循環型社会の構築を目指していく。最近ではさらにもうひとつの“R”として「Respect(自然・人に対する畏敬の念)」を加え、キャンペーンの意義、広がりをもっと深いものにしている。毎日新聞社は、05年3月よりマータイ博士を名誉会長に迎え、社内にMOTTAINAIキャンペーン事務局を設置。以来マータイ博士とともに様々な人、団体、企業などと「MOTTAINAI」をキーワードに地球環境保全を訴え続けている。